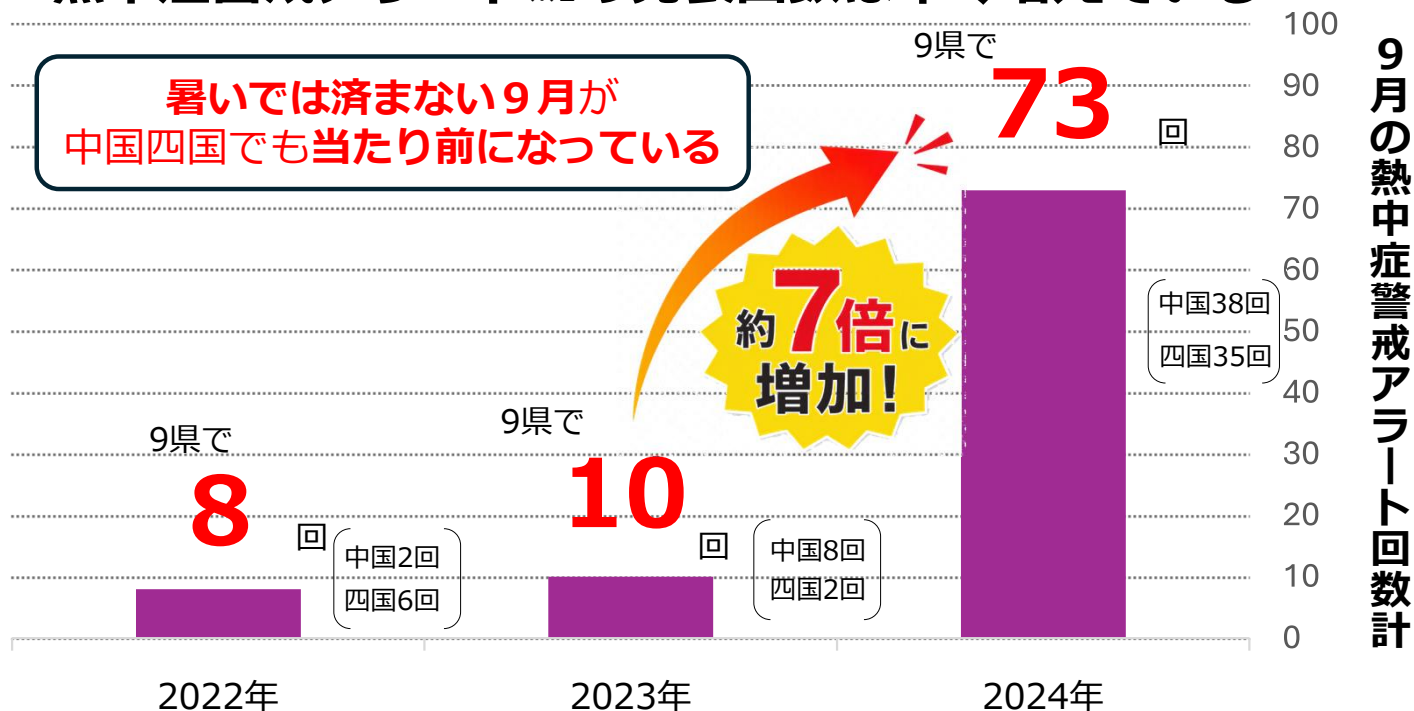


『中国四国「+(プラス)安全min」』とは農業者等が参加する会議、集会、講習会等において、少しの間だけでも時間を割いて農作業安全の話題に触れること。「min」はminutesの略。

9月も暑い！

熱中症警戒アラート※1の発表回数は年々増えている



※1 熱中症警戒アラートとは？

暑さ指数(WBGT)※2が33以上の極めて危険な状況が予想される場合に環境省と気象庁が毎朝発表します。

※2 暑さ指数(WBGT)とは？

気温、湿度、日射などの要素から算出される指数です。

28以上＝嚴重注意、31以上＝原則中止の目安で作業可否を決めましょう。

1人作業はできるだけ避ける！

1人で作業せざるを得ない場合は、家族等と30分ごとに連絡を取りましょう。

作業中はスマホを携帯しましょう！

スマホはポケットに入れるよう意識しましょう。

連絡先はスマホに登録かメモを携帯

いつでも連絡できるようスマホに登録。もしもの時は、メモの連絡先へ電話してもらう。



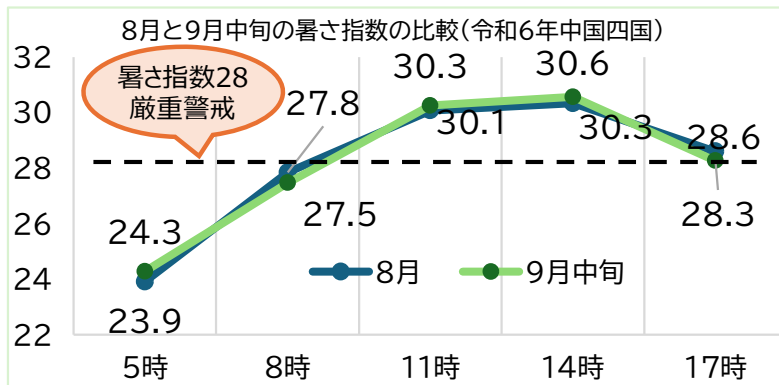
**農林水産省
中国四国農政局**

お問い合わせ：環境・技術課
086-224-4511 (内) 2774
086-230-4249 (夜間直通)

令和8年8月24日発行

9月中旬もまだ暑い！

気温が下がっても湿度は高く、油断は禁物です。令和6年の暑さ指数の平均値は8月とほぼ同じ傾向でした。9月中旬も「まだ真夏」と考え、ほ場での農作業は午前中の早い時間に行いましょう。

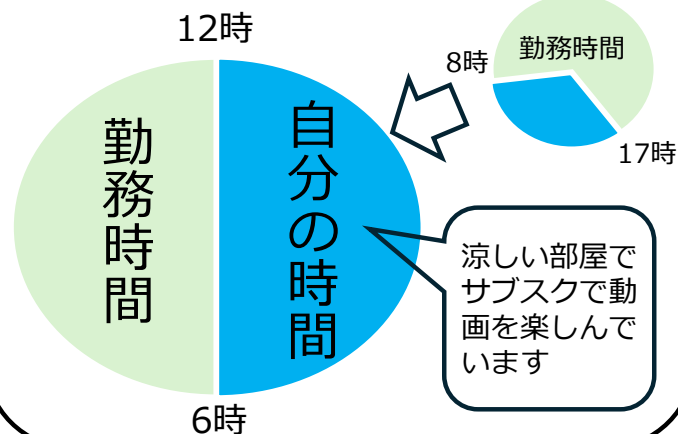


農業現場で行っている暑さ対策

効率よく仕事を終わらせる

(株)宇津木ファーム(岡山県瀬戸内市)は、役員4人及び従業員2人で、水稻42haの他、大豆、キャベツ等を生産しています。通常の勤務時間は8時から17時ですが暑くなると、従業員2人が気温や体感から、サマータイム(6時から12時までの勤務時間)への切替時期を判断し暑い日中は自分の時間としています。勤務時間が短くなることから、効率よくできる作業方法を選択しています。

サマータイムのよいところ



従業員2人がサマータイム導入時期判断
(左: 宇津木さん25才、右: 大原さん25才)

自己管理と周りへの気配りも

午前中も暑いため、休憩時間を決めず各自の判断で日陰やエアコンの効いた軽トラで休憩しています。作業中は、当該法人以外の農業者の作業状況も気かけ、何かあったら声かけができるようにしています。農林水産省が呼びかけている『熱中症対策声かけ隊』にも参加しています。

もしものの時の緊急連絡先！

油性マジックで書いてポケットに入れておきましょう！

氏名	
住所	
家族や近所の方の連絡先 (本人との関係)	— — (本人との関係:)
かかりつけの病院 (連絡先)	病院 (— —)